

Q. 土曜学習のあり方、方向について聞こう

A. 週5日制の趣旨を踏まえ研究する



青山克己議員

Q 現在の週5日制
についての長所短
所は、また今後の週5日
制、土曜学習のあり方、
方向についての考えは。

A 学校週5日制導
入後の学校現場で
は、授業の質を高め、行
事や会議を精査して子ど
も向き合う時間を生み
だす工夫がなされた。ま
た、地域の人人々には、子
どもの休日における受け
皿を整えていただいた。
これらのことは一定の成
果を出すことができた
と認識している。

現在名古屋市教育委員

会を始め、他県や他市町
でも土曜学習について検
討しているため、それら
を判断材料の一つとする。
ゆとり教育による家庭

への負担については、「有
意義に過ごせていない子
どもが少なからず存在す
る」と文部科学省が述べ
ている。子どもたちにとっ
てより豊かで有意義な
「土曜学習」をどう実現
していくか、学校教育と
の補完をどうするかが課
題となる。

週5日制の趣旨は、児
童生徒の地域社会での生
活時間の比重を高め、主

体的に使える時間を増や
し、ゆとりの中で学校・
家庭・地域が連携しつづ
社会体験や自然体験など
経験させ、みずから学び
考える力や豊かな人間性
など「生きる力」を育む
ことである。
本町では、それぞれの
趣旨をよく理解し、研究
を進める。



校訓「創造・責任・健康」